

大学院：教科教育専攻

教材の開発と探求2（体育学）

「体育理論」の教材開発と探求をふりかえって

保健体育講座・石井浩一

登録学生数：4

としてのスポーツの意義

1. 授業の目的

教員は日々自身が作った授業を振り返り、創意工夫をこらした教材を提供する努力をする必要があります。本授業はこうした考えのもとに組み立てたものです。授業を通して、教材開発と探求を繰り返していく能力を養うことに、本授業の意義が見いだせる。

2. 授業の到達目標

- ①中学校および高等学校「体育理論」の授業案を「学習指導要領」に則って作成し、発表できる。
- ②授業カンファレンスに積極的に参加し、質疑応答することができる。

3. 授業の方法、形態

『中学校学習指導要領』平成20年版
〔体育分野 第3学年〕体育理論 文化

『高等学校学習指導要領』平成21年版
体育理論 1 スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴に準拠する教材の開発を受講生に求め、毎時一人模擬授業をしてもらうという方法をとった。模擬授業の後に、教員と他の受講生を交えてカンファレンスを行い、次回の模擬授業に生かしていくという形態をとった。

4. 授業の概要

第1回：ガイダンス

第2回：模擬授業 文化としてのスポーツの意義－国際的なスポーツ大会が果たす文化的な意義や役割－、カンファレンス

第3回：各自模擬授業の準備

第4回：休講（緊急会議のため）

第5回：休講（高浜小学校授業観察のため）

め)

第 6 回：模擬授業 運動やスポーツへの
多様なかかわり方、カンファレ

ンス

第 7 回：模擬授業 予定者体調不良のため、
無し

第 8 回：模擬授業 オリンピック・ムー
ヴメントとドーピング、カンフ
ァレンス

第 9 回：休講（日本体育学会スポーツ人
類学専門領域定例研究会出席
のため）

第 10 回：模擬授業 現代生活における
スポーツの文化的意義、カンフ
ァレンス

第 11 回：模擬授業 運動やスポーツが
社会性の発達に及ぼす影響、カ
ンファレンス

第 12 回：模擬授業 運動やスポーツの
学び方、カンファレンス

第 13 回：休講（修士論文発表会準備の
ため）

第 14 回：模擬授業 スポーツの文化的
意義、カンファレンス

第 15 回：受講者各自ふりかえり

5. アンケート結果

Q1 教員の話し方や説明はわかり
やすいですか？

とてもわかりやすい：3

まあまあわかる：0

わかりにくい：0

全くわからない：0

Q2 教員の進度は適切ですか？

かなり速すぎる：0

やや速すぎる：0

適切である：3

やや遅すぎる：0

かなり遅すぎる：0

Q3 授業のレベルは適切ですか？

かなり難しすぎる：0

やや難しすぎる：0

適切である：3

やや易しすぎる：0

かなり易しすぎる：0

Q4 教員は、授業を改善するよう努力していましたか？

改善の必要がなかった：0

そう思う：3

あまりそう思わない：0

全くそう思わない：0

とてもそう思う：2

まあそう思う：1

あまりそう思わない：0

全くそう思わない：0

Q5 シラバスに即した内容の授業が行われていましたか？

とてもそう思う：0

まあそう思う：3

あまりそう思わない：0

全くそう思わない：0

Q8 この授業の良い点について書いて下さい。

○授業の実践力が身につく。

○他の人の授業を受けることで、自分のスキルアップにつながる。

○体育理論は保健体育を指導するうえで難しいところだったので、実際に授業することで授業力がついた。

○一回一回授業内容について話会えた。

Q6 あなたは、シラバスに記載されているこの授業の到達目標に達したと思いますか？

とてもそう思う：0

まあそう思う：3

あまりそう思わない：0

全くそう思わない：0

Q9 この授業の改善すべき点について書いて下さい。

○（学生がする模擬授業の）時間をしっかり計測する。

○授業数をこなして、授業改善の経過をみる。

○授業についての協議の時間をしっかりとる。

Q7 この授業は全体的に満足のものでしたか？

○授業案をつくる。
○体育理論と限定されたなかで、その中でも限定された単元で授業を行うという制約であったので、もっと他の内巢

○（学生の模擬授業を）30分～45分程度にして、（一回の講義で）2人授業を行う。そして、その授業で指摘された点を改善して、もう一度同じ単元で授業を行う（とよい）。

○できれば、生徒観などを踏まえた指導案を作成してもよいと思う。

6. 総括

本授業は、これまで毎年度開講していたが、受講生がおらず、今年度初めて授業を実施することとなった。そのため、筆者に不備な点が多々あり、反省することが多い授業であった。以下、自己省察とアンケート結果から、次年度への課題を述べる。

① 教科教育の担当ではない筆者にとって、この授業をするには知識不足、経験不足を痛感したので、中学校、

高等学校の体育理論の参考書を熟読し、授業の内容、すすめ方をもっと工夫する必要がある。

② 授業概要に、模擬授業の後にカンファレンスと書いているが、実際にはカンファレンスに時間を割くことはほとんどなく、模擬授業を行っただけに終わってしまった。

③ 授業案をきちんと作らせて、模擬授業開始前に配布させるべきだった。

④ 限定された単元という制約をつけたのがよくなかったか。もっと他の内容を取り扱ってもよかったかもしれない。制約をつけたのは、当該部分が筆者の研究分野であり、知見が豊富であったためであった。受講生にとって授業案の選択肢が狭まってしまったことは、全くそのとおりであろう。